

# 総額61億5,127万3千円

## 決算審査特別委員会

(単位：千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	4,568,170	4,461,223	106,947
特別会計			
国民健康保険特別会計	696,211	664,774	31,437
介護保険特別会計 (保険事業勘定)	534,556	525,281	9,275
介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	1,100	1,100	0
後期高齢者医療特別会計	70,701	70,578	123
浄化槽整備特別会計	47,509	47,509	0
国民健康保険診療所特別会計	97,740	88,685	9,055
水道事業会計	318,066	292,123	25,943
計	6,334,053	6,151,273	182,780

令和2年度決算審査は、定例会9月会議で平野隆雄委員長ほか8名(議長を除く)の議員により構成する「決算審査特別委員会」を設置し、9月14・15日の2日間、一般会計を含む7会計について審査、各事務事業に対して質疑・意見交換が行われました。



平野隆雄 決算審査特別委員長

### ■総務費

**問** デマンドバスの運行範囲に千軒地区を入れることは出来ないのか？  
(佐藤孝男議員)

**答** 運行範囲は民間事業者も入る協議会の中で決められているが、町として協議会に地域の実情をしっかりと説明し運行できないか検討していきたい。

**問** 少子化対策として出産祝金の金額、第一子五万円を十万円に引き上げることを検討してはどうか。  
(杉村志朗議員)

**答** 出産祝金の制度は第一子五万円、第二子二十万円、第三子以上百万

円とかなりインパクトのある政策と考えており、政策に取組んで以降、合計特殊出生率も上昇に転じていることから、当面は現状の形で進めていく。

**問** ふるさと応援基金の課題として、ふるさと納税の募集に係る経費割合を上げていくが、どの程度の割合を見込んでいるのか？  
(平沼昌平議員)

**答** ふるさと納税については全体に占める経費の割合が50%以内となっているが、令和2年度については55%と5%経費がオーバーしている状況。令和3年度は寄附額を上げ返礼品の割合を下げる見直しを行い8月から運用している。

### ■民生費

**問** 保育所にコロナ対策としてA I R ボットとサーモグラフィを購入しているが、利用状況は？  
(木村隆議員)

**答** 購入後、ソフトウェア等のトラブルから使用できなくなる不具合もあったが、現在は教室内に設置し毎日の検温等に活用している。

**問** ごみが不法投棄されている場所はどの地区が多いのか、その対策は？  
(佐藤孝男議員)

**答** 不法投棄は町内一円で発生しており、どの地区が多いということはない。これからも町内パトロールや監視カメラの設置、開発局への協力依頼等、監視体制を強化していく。



5月に行われた不法投棄撤去作業



千軒の登山小屋

## ■商工費

**問**

千軒登山をする人が増えているが山で遭難する人も居る。入山する際の確認と緊急時の連絡方法等はどうなっているのか？

(佐藤孝男議員)

**答**

入山する際の確認は町の管轄ではないが、登山小屋を利用する際には連絡先等を確認しており、緊急時の連絡先も周知されている。

## ■教育費

**問**

今回、タブレットを使用して遠隔授業を行っているが、全家庭にインターネット環境が整っているのか？

(藤山大議員)

**答**

昨年の緊急事態宣言で北海道全体が臨時休校になった際、当町も同様の措置を取らせていただいた。福島町の場合は平成30年度までにタブレットを一人一台持たせており、今現在はほぼすべての家庭でインターネットの環境が整っている。

## ■財産

**問**

近年、山林を寄付する所有者が増える傾向にある。今後寄付者は増えていくものと考えられるが、山林寄付の手続きや、相続の支援体制を検討するなど、受入れを拡大していく考えは？

(川村明雄議員)

**答**

昨年度は3名の方から4筆の森林の寄付があった。これまで行政では町の将来的負担が掛かるものについては寄付を受けない姿勢でしたが、管理されず荒廃したままにするよりは町でしっかり管理したほうが町全体の土地の利活用には良いと考え、なるべく相談を受けるスタンスに変えている。

## ■診療所会計

**問**

診療所の患者も増えてきているが、経営状況等の現状はどうなのか？

(溝部幸基議長)

**答**

収支黒字化を目指しているが、まだ数年は掛かると考えている。ただ今回のワクチン接種で診療所そのものが町民に認知されてきており、これからは健診等を通じながら診療所を町民にしっかりPRしながら収益に繋がるようやっていきたい。

**問**

町の診療所として薬品の取り扱い、管理の透明性が求められると考えるが、現状はどうなっているのか？

(平沼昌平議員)

**答**

薬品の管理の件については従来から意見を頂いており、管理については医師にしっかりとお願いしている。今後、何らかの機会を通じて明確に管理の透明性を保てるような資料を提出していきたいと考えている。



やまゆりクリニック受付窓口の職員